

【NEWS RELEASE】

2021年3月31日

各位

株式会社三井住友銀行

ミズノ株式会社に「ポジティブ・インパクト金融原則適合型
ESG/SDGs評価シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ミズノ株式会社（代表取締役社長：水野 明人）に対し、「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDGs 評価シンジケーション」としてシンジケート・ローンを組成いたしました。

「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDGs 評価シンジケーション」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、サステナビリティ経営の実現に向けた活動を継続的に支援することを目的とした、ポジティブ・インパクト金融原則（※3）およびモデル・フレームワーク（資金使途を特定しない企業向け金融商品）に適合した融資商品として、三井住友銀行が第三者認証機関である DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（代表取締役社長：前田 直樹）よりセカンド・オピニオンを取得しております（※4）。本件は、国内スポーツ用品業界では初のポジティブ・インパクト金融による融資契約締結となります。

今回のミズノ株式会社に対する評価結果は、「気候変動への取組」、「従業員・サプライヤーへの配慮」、「サステナビリティへのコミットメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において優れた ESG 側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じた SDGs 達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG 配慮及び SDGs 達成への取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ・ 自社の事業活動に伴う環境負荷を削減するため、2030 年に向けた定量的な環境目標を設定し、商品を通じた環境負荷低減に向けて、「環境負荷の少ない材料の選択」「材料使用量の削減」「包装資材の削減」等に取り組んでおられる点。
- ・ 気候変動の適応に資する商品として、ファン付きの空調ウェアや、冷却性・通気性に優れた素材を使用したウェア等の猛暑対策品を展開しておられる点。

- S：・「健康経営宣言」を公表し、「生活習慣病予備軍の比率低減」や「メンタルヘルス休業者の人数減」等の課題に対して具体的な目標値を定め、従業員の健康増進の取組を全社的に進めておられる点。
- ・CSR 調達の実効性を高めるため、「CSR 調達行動規範」に基づき取引先の CSR 監査を行い、その評価結果をもとに取引先のサステナビリティの取組の改善指導等を継続実施しておられる点。
- G：・「より良いスポーツ品とスポーツの振興を通じて社会に貢献する」という経営理念のもと、2030 年に向けて社会的課題の解決につながる事業を明確にし、社会価値と経済価値の創出を同時に目指すことを組織方針として掲げておられる点。
- ・「サステナビリティ推進委員会」を設置し、経営上の重要課題として全社でサステナビリティの取組を推進しておられる点。
- SDG s：・事業を通じて社会的課題の解決に貢献する領域として、「次世代を担う子どもたちの運動能力と体力の向上」「スポーツを通じた健康寿命の延伸」等を特定し、注力する SDG s の目標の絞り込みを行っておられる点。
- ・ホームページにおいて、事業によって達成に貢献する SDG s の目標と具体的な取組事例を明示しておられる点。

また、「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDG s 評価シンジケーション」における、ミズノ株式会社が意図する、企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクトとして、以下の重点取組項目・評価指標が設定されています。ミズノ株式会社は、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社よりポジティブ・インパクト金融原則への適合を確認する書簡を取得しております（※5）。

	重点取組項目	評価指標
① 自社の事業活動（環境面）	事業活動に伴う環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・ミズノグループ全体（グローバル）でのエネルギー起源 CO2 排出量 ・国内製造拠点における産業廃棄物のリサイクル率 ・有害化学物質の排出量
② 製品・サービス	環境・社会課題解決に資する製品・サービスの提供/CSR 調達	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの運動能力・体力向上に関するプログラムの実施実績 ・新規サプライヤー候補への CSR 事前評価および取引中サプライヤーへの CSR 監査の結果
③ 自社の事業活動（社会面）	ダイバーシティ/働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職比率 ・男性育児休業取得率 ・有給休暇取得率

三井住友銀行では、「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDG s 評価シンジケーション」により、お客さまの ESG/SDG s への取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことであります。

※3 ポジティブ・インパクト金融原則とは

SDGsの達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017年1月に国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）により策定されたものです。資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めており、「定義」、「枠組み」、「透明性」、「評価」の4つの原則で構成されています。

※4 2020年9月30日 三井住友銀行ニュースリリース参照

<https://www.smbc.co.jp/news/>

※5 2021年3月31日 DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパンニュースリリース参照

<https://www.dnvgl.jp/news/page-198466>

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。
--